

とっくりがま



発行：放送大学山口学習センター 2026年4月発行 第114号

— 目次 —

- 『退任のごあいさつ』 放送大学山口学習センター所長 杉浦 崇夫 1
- 『謝辞』 卒業生代表 奥野 忠 2
- 卒業生のメッセージ 3
- 学生寄稿『一虹のキセキ』 教養学部 肥喜里 穂歩 4
- 事務室からのお知らせ 5
- 4月～6月のスケジュール 11

< 機関紙「とっくりがま」の由来 >



明治14年、小野田セメント製造会社（現・太平洋セメント株式会社）が創立され、明治16年から焼成炉4基の窯によって生産が始まりました。高さ9.6m、煉瓦を積み上げて作った立窯で、徳利に似ていることから「徳利窯」と呼ばれるようになりました。日本近代の洋式セメント製造法を伝える唯一の遺構で、重要文化財に指定されています。

山口学習センターが生涯学習の中核として、ますます発展することを願い、この「徳利窯」にあやかり、機関紙名を『とっくりがま』と命名しました。



〒753-0841 山口市吉田 1677-1
(山口大学吉田キャンパス学生会館 1F)

T E L : 083-928-2501
F A X : 083-928-2503
E - m a i l : yamasc35@ouj.ac.jp

ウェブサイト: <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/yamaguchi/>




学習センターの利用時間

◆ 9:30～17:30

2026年4～6月の閉所日

- ◆ 毎週月曜日、火曜日、祝日
- ◆ 特別閉所日: 5月6日(火)



退任のごあいさつ

放送大学山口学習センター所長 杉浦 崇夫




皆さまには、日頃より温かいご交流をいただき、心より感謝申し上げます。このたび放送大学山口学習センター所長を退任するにあたり、在任中の思いの一端を綴り、ご挨拶とさせていただきます。

放送大学での仕事は、通学制四年制大学で長く教育・研究に携わってきた私にとって、新鮮な驚きと学びの連続でした。学生の年齢層は幅広く、学びの目的も実に多様で、まさに「生涯学習」の姿を日々目の当たりにしてまいりました。日頃、学生の皆さんと直接触れ合う機会が多くない中で、特に印象深かったのが、地域の皆さまを対象に開催した転倒予防講座です。高齢化が進む地域において、転倒は生活の質を大きく左右する重要な課題です。そこで、私の専門を生かして何か貢献できないかと考え、職員の方々に相談しながら講座を企画しました。講座では、体力測定や生活習慣の確認に加え、私自身がここ数年取り組んできたラダーステップ（ラダー運動）を中心とした、バランス機能の向上を目指すプログラムを実施しました。

実はこの研究テーマに着手したのは、前任校退職の数年前で、当初は幼児のバランス機能を高めることを目的として始めたものです。この取り組みについては、冗談交じりに「孫の運動能力を高めるため」と話していたのが、今では「自分自身の転倒防止のため」と紹介するようになりました。最初は「こんな運動ができるだろうか」と不安げだった参加者の皆さんが、回を重ねるごとに軽やかにステップを踏み、姿勢が安定し、表情まで明るくなっていく姿は、たいへん印象深いものでした。講座終了時には、バランス機能の測定値が明らかに改善した方も多く、「自身の身体の状態を見つめ直す契機になった」「日常生活における運動への意識付けにつながった」といった声をいただき、学習センターが地域の健康づくりに確かな役割を果たせたことを実感いたしました。


通学制大学とは異なり、放送大学では学生も地域住民も、学びの背景や目的が実に多様です。そうした方々と向き合い、共に学び、時に励まし合う場をつくることは、私にとって大きな挑戦であり、同時に深い喜びでもありました。面接授業の開講に苦勞した日々も含め、ここでの経験は、教育者としての私の視野を大きく広げてくれたと感じています。退任後も、これまでの経験を生かしながら、地域の健康づくりや教育活動に、ささやかながら関わっていければと考えております。

学友同窓会の皆さまにおかれましても、どうかお元気で、それぞれの場でご活躍されることを心よりお祈り申し上げます。



謝辞

卒業生代表 修士全科生 人間発達科学プログラム 奥野 忠



本日は教職員の皆様、ご来賓の皆様のご臨席の下、このように心温まる卒業式を挙げていただき、誠にありがとうございます。皆様のご支援のもと、本日、無事卒業を迎えることができましたことを、卒業生一同、心より御礼申し上げます。

私は、定年退職後、フルタイムの仕事からパートタイムの仕事に替わって時間を持て余すようになったとき、軽い気持ちで修士選科生として、数科目を履修することにしました。履修した科目の学びは、新しい知見を得るとともに、これまでの自分の薄い知識を補完するものでした。

放送大学は、放送教材や印刷教材をもとにインターネット配信で受講でき、単位認定試験もオンラインで受験できます。このように、自分のライフスタイルに合わせて学ぶことができることに魅力を感じ、翌年には修士全科生に挑戦することにしました。

修士全科生としての二年間で、もっとも労力を費やしたのは、やはり研究論文でした。先行文献の検索、テーマ決め、データ収集、実際の執筆など、未知の経験であり、頭の中の整理がつかず、試行錯誤の連続でした。それでも、ゼミ担当の先生のご指導や同じゼミの学生の皆様からご意見をいただきながら、何とかまとめることができました。特に、千葉の本部で開かれた対面ゼミでの情報交換は、立場の違うさまざまな発想に触れることができ、大変有意義な時間となりました。

放送大学の学びを終えて、達成感はもちろんありますが、それ以上に、「学ぶこと」の楽しさや大切さを改めて感じています。これからも、年齢を気にせず、何らかの形で「学び」や「挑戦」を続けていきたいと考えています。

最後になりましたが、先生方、事務局の皆様のご健康とご多幸、放送大学のますますの発展を祈念いたしまして、お礼の言葉といたします。

(令和八年三月二十九日 学位記授与式)

おめでとうございます

2025年度第2学期は、教養学部22名、大学院3名の方が卒業・修了されました。

■ 教養学部 (22名)

生活と福祉コース……………10名
心理と教育コース……………7名
社会と産業コース……………2名
情報コース……………1名
自然と環境コース……………2名

■ 大学院 (3名)

生活健康科学プログラム……………1名
人間発達科学プログラム……………1名
情報学プログラム……………1名



卒業生・修了生のメッセージ



知は力なり。この力を友として、これからも歩んでいきましょう。
【生活と福祉コース 60代】

学びと仕事の両立の難しさを痛感。ただそれ以上に心の豊かさを生み出してくれる授業に日々感謝です。今後もできる限り頑張りたいと思います。

【生活と福祉コース 50代】

還暦を超えた男性です。以前から心理学に興味があり、勉強すれば他人の気持ちを少しは理解できたかなという思いと、毎日の生活のハリが欲しかったので放送大学の入学を決めました。仕事があるので、自分の都合に合わせて講義を受けられるのはとても助かりました。ただ、歳のせいかなかなか理解が難しかったのですが、理解しにくいところは何度も聞き直せるので助かりました。単位認定試験がコロナの流行により自宅試験になったのも山口学習センターが遠い私にとっては都合がよかったです。あまり気の進まなかった面接授業ですが、いざ行ってみると私より大先輩の男性やご婦人方が多くおられ、しかもとても熱心に授業を受けておられることに驚き、自分ももっと頑張らないと、と刺激を受けました。生涯教育を実感しました。私にとって初めての大学生活はえらい時もありましたが、ハリのある有意義な毎日でした。研修旅行も予想以上に楽しかったです。この度卒業となりますが、生涯なにがしかの体験にチャレンジしていきたいと思っています。追伸、心理学を勉強したからといって他人の気持ちはわからないということも知りました。

【心理と教育コース 60代】

このたび卒業を迎えることができ、大変うれしく思います。学業と日常生活を両立する中で、思うように進まないこともありましたが、学び続ける時間は自分自身と向き合う貴重な機会でもありました。支えてくださった先生方や職員の皆様に心より感謝申し上げます。ここで得た学びを、これからの人生の中で大切に生かしていきたいと思っています。

【心理と教育コース 30代】

学校生活に馴染めず高校を中退してから、ずっと学歴にコンプレックスを持っていました。結婚し、子供が生まれ、家族を守りたい、自分を変えたいと幾つかの国家資格を取得しましたが、学歴コンプレックスは消えませんでした。長男が小学校に入学する機会に、「パパも6年後と一緒に卒業する」と一念発起し、放送大学に入学しました。その矢先、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言！なにもかもが変わっていく時代に親子共々、不安と戸惑いを感じたことを覚えています。先日、長男が小学校を卒業しました。成長した彼の姿に涙が止まりませんでした。宣言通り、私も放送大学を卒業します。仕事、育児、家事をしながらの勉強は容易いことではありませんでしたが、成長していく長男、次男が活力となり、私の思いを理解し支えてくれた妻に感謝です。卒業となりますが、もっと学びたいと思っている自分があります。次は何を学ぼうかな…。

【心理と教育コース 40代】

本日、卒業の日を迎えられたのは、仕事との両立を支えてくれた職場の方々や家族のおかげです。心から感謝します。仕事と学業の両立は決して楽ではありませんでしたが、やり抜いた経験が大きな自信になりました。この卒業という節目を新たなスタートラインとして、新たな目標に向かって頑張りたいと思います。

【心理と教育コース 20代】

何とか3教科目の卒業を迎えることができました。全教科の卒業を目指して、これからも頑張ります。


【社会と産業コース 70代】

継続入学させていただきました。

【自然と環境コース 70代】


修士の学位が必要で放送大学で所得できました。大変お世話になりました。ありがとうございました。

【情報学プログラム 40代】



学生寄稿「一虹のキセキ」

教養学部 肥喜里 穂歩



私は、文章を書くことが好きです。次の歌は私が短歌を始めるきっかけになった方の歌です。

「音もなく涙を流す我がいて授業は進む次は25ページ」 (歌集「麒麟の子」より)

一読して私のことだと思いました。ですが、私の作品ではありません。

セーラー服の歌人として知られる鳥居さんという方の短歌です。彼女は、義務教育を満足に受けられないままの大人がいることを社会に訴えようとセーラー服姿で取材を受けられています。彼女の人生は壮絶と言い表されることが多いのですが、この歌に深く共鳴するひとたちもいるのではないのでしょうか。

放送大学は、広く国民に開かれた教育機関です。学ぶ意志さえあれば、学力も年齢も関係ありません。私がおこなうまでにも、あなたがここにたどり着くまでにも、そしてこの先も様々な物語があると思いますが、私の告白に少し耳を傾けてくれませんか。

私は授業が怖いのです。テストも怖いのです。でも、嫌なわけではありません。怖いのです。あの頃の日々を思い出してしまうからです。

そんな私に一筋の光をくれた作品があります。

「傷のない果実を選ぶ そのたびに私はわたしを好きになれない」

この作品で、私は第26回若山牧水青春短歌大賞を頂きました。

社会は私たちを様々な尺度をもって評価します。例えば、想像してみてください。就職の面接などにおいて、輝かしい経歴をもつ人が選ばれ、傷のある人は選ばれないこともあるでしょう。

この歌の主体は傷のない果実を選んでいきます。そして、そのたびに自分のことを好きになれないと言っています。

なぜでしょうか。

私が考えるに、この歌の主体は自分自身が誰かをはかっていることが嫌なのだと思います。生きていくためには計算も必要かもしれません。しかし、主体は平等という言葉に目を向けています。どの命も、どの人生にも価値があることに変わりはありません。

近年、生きづらさという叫びが多いように感じます。

私は短歌や文章を通して、少しだけ私自身を認めてもらえたように感じました。放送大学で学ぶ皆さんにも自分を救う小さな光を探してみたいと思います。

食べることで、眠ることで、歌うことで構いません。

そして、それを決して責めないでほしいと思います。

学生の本分は学業ですが、その前に私たちはひとりの人間です。機械でも、AIでもありません。機械でさえ、バグを起こしたり故障したりします。人間として生きることは大変です。

死もあるでしょう。病もあるでしょう。ですが、みんな必死に生きています。私は様々な事情や背景を抱える皆さんの学びを応援しています。そして私自身も卒業、そしてその先まで頑張っていきたいと思えます。

最後に、みなさんに次の歌を贈ります。

「何度でも学んでみよう 人生のキセキを描く虹の軌跡を」

事務室からのお知らせ



◇ 山口学習センターの利用について

- ・事務室窓口業務 9:30～17:30
 - ・図書・視聴学習室 9:30～17:30 放送授業の視聴は16:00までに入室（12:00～13:00は閉室）
- ※利用時間等が変更となった場合は山口学習センターのウェブサイトおよび掲示板でお知らせします。



◇ 地震・風水害等による臨時閉所について

発令地域	発令時刻	警 報 内 容	閉 所	備 考
山口市	7:00	各特別警報または大雨、洪水、暴風、大雪等のいずれか	14:00 まで	開所後に発令の場合は状況に応じて閉所
	13:00	上記警報発令中	終日	

〔詳細は、「2026年度 利用の手引き」P2をご参照ください〕



◇ 客員教員の紹介

山口学習センターでは、所長と6名の客員教員が学習の方法、学習の進め方の相談や放送授業科目の学習支援に応じます。また、各専門分野でのゼミや公開講座も開催します。詳細については決まり次第、学習センターウェブサイトおよび掲示板でお知らせします。

学習相談をご希望の場合は事前に「学習相談予約票」をご提出ください。

申込は窓口またはメールにて受け付けます。

詳細はこちら→



客 員 教 員	専 門 分 野	学 習 相 談 日 時
		第 1 学 期
宮田 浩文 (山口学習センター所長)	動物細胞生理学、 運動生理・生化学	水曜日～日曜日 10:00～17:00
阿部 新 (山口大学・教授)	環 境 経 済 学	金曜日 9:30～12:30
清水 満幸 (前 萩博物館・館長)	民 俗 学	水曜日 9:30～12:30
長谷 和久 (山口大学・講師)	社 会 心 理 学	土曜日 9:30～12:30 (月2回)
西尾 幸一郎 (山口大学・准教授)	住 居 学	金曜日 13:00～16:00
野村 厚志 (山口大学・教授)	情 報 処 理 学	木曜日 9:30～12:30
横山 和平 (山口大学・名誉教授)	土 壤 微 生 物 学	水曜日 13:30～16:30

◇ 閉所日 2 日制の導入について

重要



山口学習センターでは、令和8年4月から下記のとおり閉所日 2 日制に移行いたします。
なお、山口学習センターが閉所している際のお問い合わせは、学習センターのメールや、本部学生サポートセンター(043-276-5111)をご利用ください。

【 令和 8 (2026) 年 4 月 1 日からの閉所日 】

- ・ 毎月曜日・毎火曜日
- ・ 国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に定める祝日及び休日
- ・ 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日までの日 (前号の祝日及び休日を除く)
- ・ 学長、学習センター所長が特に必要と認めた日

また、臨時閉所等、山口学習センターのウェブページでご確認ください。



◇ 「学生生活の葉」の電子化について



『学生生活の葉』では、放送大学で学ぶに当たって、その方法、留意事項、諸手続きをはじめ、学習センターの利用方法などについて記載しています。

2026 年度から「学生生活の葉」は冊子での配布を終了し、**電子形式(PDF など)で提供**します。

「システム WAKABA → 学内リンク → 学生生活の葉」をご確認ください。



◇ 学生証について

- ◆ **入学生の方**…「**入学許可書**」を事務窓口までお持ちください。本人確認の上、学生証をお渡しします。

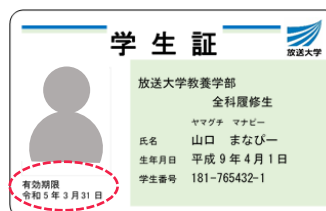
継続入学の方は旧学生証もお持ちください。新しい学生証と交換します。

※注意 顔写真が未登録の方は発行できませんので、システム WAKABA で直接登録、または写真票を大学本部学生課入学・履修係に郵送して (発行までに約 2~3 週間)、手続きを行ってください。

- ◆ **在学生の方**…「**有効期限の切れた学生証**」を事務窓口で新しい学生証と交換します。

交換は **4 月 2 日 (木) 以降**になります。

有効期限をご確認ください！
令和 8 年 3 月 31 日またはそれ以前に
なっている場合は更新が必要です。



※注意 氏名等の変更をした場合は学生証の再発行手続きが必要です。(手数料：500 円)

[詳細は「学生生活の葉」学部 P23~P25、大学院 P35~P38 をご参照ください]



システム WAKABA（放送大学教務情報システム）は、大学からのお知らせを始め、放送授業のインターネット配信、通信指導提出等学習に関する情報を取得できます。



【重要！】パスワードの変更について

- ◆ **入学生の方**…システム WAKABA を利用するには初期パスワードの変更が必要です。
入学許可書が届いたらまずは**初期パスワードを変更**してください。
＊ ご変更はこちらから → <https://sso.ouj.ac.jp/webmtn/LoginServlet>
 - ◆ **在学生の方**…初期パスワードを変更していない場合、システム WAKABA を利用できません。また、パスワードを忘れてしまった場合は、以下のいずれかの方法でご連絡ください。
＊ 山口学習センターへ**来所**（対面のみ対応）
＊ 学生サポートセンターへ**電話**（TEL：043-276-5111）
＊ 教務課教務係へ**メール**（e-mail：kyomuka@ouj.ac.jp）
- 本人確認の上、**初期パスワードに再設定**しますので、速やかに初期パスワードを変更してください。
翌日6時までに変更しなかった場合、再度システムが利用できなくなりますのでご注意ください。

◎各種変更手続きについて

所属コース、所属センター、住所、氏名等の変更手続き、および休学、復学、退学等の届け出については、システム WAKABA で行うことができます。また、「学生生活の葉」の巻末にある様式またはシステム WAKABA 「キャンパスライフ→各種届出・申請様式」からダウンロードして郵送でも提出できます。

☆ キャンパスメールを確認してください



キャンパスメールは、Web ブラウザを利用した電子メールシステムです。
下記メールアドレスが学生全員に割り振られます。山口学習センターから連絡手段としてメールを送信いたします。**定期的にキャンパスメールを確認してください。**

キャンパスメールアドレス： 学生番号（ハイフン除く半角10桁）@campus.ouj.ac.jp

※キャンパスメールに届いたメールを、普段ご利用の携帯メールアドレスなどへ自動転送するには、システム WAKABA 「キャンパスライフ → 附属施設・情報システム」の「キャンパスメールの自動転送設定方法」をご参照ください。

〔詳細は「学生生活の葉」学部 P117、大学院 P116 をご参照ください〕

◇ Web 通信指導について

重要



通信指導は、郵送提出科目を除き **Web 通信指導による提出**のため、問題冊子の送付はありません。

通信指導の解答は、必ず放送大学本部へ**提出期間内**に提出してください。期限後の提出や未提出は評価対象になりません。**答案を提出し、合格しないと単位認定試験を受験することができません。**

◆ Web 通信指導による提出が困難な場合

自宅等にインターネット環境がない、またはパソコン等電子機器の操作が困難等の事情により、Web 通信指導による提出が困難な場合は、変更願受付期日までに単位認定試験の受験場所を学習センターにしている場合に限り、問題冊子を送付します。問題冊子の送付時期は4月下旬です。

◆ 提出期間

Web 通信指導による提出 (一部科目を除く)	5月7日(木) 10:00 ~ 5月27日(水) 17:00 利用するパソコン及びネットワーク環境に起因するトラブルにより提出が間に合わなかった場合でも、未提出扱いとなりますので、余裕をもって提出(送信)してください。
郵送による提出※	5月13日(水) ~ 5月27日(水) 本部必着 ※郵送提出科目、Web 通信指導による提出が困難な場合に限ります。

[詳細は、「学生生活の葉」学部 P68~P73、大学院 P73~P78 をご参照ください]

◇ 単位認定試験通知(受験票)の郵送廃止について

重要



2026年度第1学期より、**単位認定試験通知(受験票)の郵送を廃止**いたします。

ただし、単位認定試験受験場所が「全て学習センター受験」の方と「記述・併用のみ学習センター受験」で記述・併用科目を受験予定の方には、紙の単位認定試験通知(受験票)を引き続き郵送いたします。

当該学期の受験資格(通信指導の可否)は、**システム WAKABA「教務情報 → 単位認定試験時間割照会(学生用)」**にて、**ご自身でご確認ください。**

※第1学期は6月下旬、第2学期は12月下旬に公開予定です。

詳細はこちら→



◇ 無線 LAN (Wi-Fi) の利用について



オンラインで事前申請することにより、放送大学が提供する無線 LAN (Wi-Fi) を全国の学習センターでご利用いただけます。

1. サイバーセキュリティ研修の受講

「システム WAKABA → 放送大学自己学習サイト → 情報セキュリティ研修(学生用)」を受講してください。小テストに合格すると「修了証」が発行されます。

2. 利用申請(オンライン)

「システム WAKABA → キャンパスライフ → 各種届出・申請様式 → 無線 LAN 利用申請(オンライン)について」の参考 URL から申請してください。申請後、ID、パスワードが表示されます。

3. 学習センターで無線 LAN (Wi-Fi) 接続

ご自身の端末にて ID とパスワードを入力して無線 LAN (Wi-Fi) に接続してください。



[詳細は「学生生活の葉」学部 P118、大学院 P117 をご参照ください]

☆ 面接授業の時間割変更について

重要



山口学習センターでは2025年度第2学期から開始・終了時刻が変わりました。
開始時刻は20分繰り上げ **9時30分開始**、最終時限はこれまでより30分早く **16時40分終了**です。ご注意ください。

1日目		2日目	
第1時限	9:30~11:00	第1時限	9:30~11:00
第2時限	11:10~12:40	第2時限	11:10~12:40
休憩 50分		休憩 50分	
第3時限	13:30~15:00	第3時限	13:30~15:00
第4時限	15:10~16:40	第4時限	15:10~15:55
		試験・レポート等	15:55~16:40

☆ 2026年度第1学期 面接授業について



面接授業とは、学習センターなどで直接講師から指導を受ける授業形態です。
定員に余裕のある科目（空席のある科目）については、面接授業の追加登録ができます。
詳細については 4月初旬に学習センターウェブページにてお知らせします。

また、山口学習センターでは、第1学期の単位認定試験後、試行的な取り組みとして夏季に面接授業を開講します。

夏季開講科目	担当講師	日時	会場
俳諧と連歌	尾崎 千佳 (山口大学教授)	8月22日(土)・23日(日)	山口学習センター

以下の留意事項を確認の上、科目登録、追加登録するようお願いします。

- 第1学期の期間での開講ですが、8月下旬での開講のため、第1学期の単位認定および卒業判定の【**対象科目とはなりません**】のでご注意ください。
- 単位認定は11月以降システム WAKABA から確認してください。また、成績通知書は送付しません。
- システムの制約上、8月下旬に発送される第1学期成績通知書には、「不合格」と表記されます。
- 第2学期に同名の科目が開講されていた場合でも、履修登録できません。
- 面接授業（夏季開講科目）に関する問い合わせは山口学習センターへお願いします。
(学生サポートセンターは回答できません)

〔詳細については授業概要（シラバス）をご確認ください〕

☆ キャッシュレス決済について

重要



2025年度10月より、証明書の発行、学生証再発行、文献複写や面接授業・ライブWeb授業の追加登録にかかる費用の支払い方法が、**「キャッシュレス決済」**に変わりました。

詳細は放送大学ウェブページをご確認ください。

詳細はこちら→





◇ 学生教育研究災害傷害保険（学研災）について

学生教育研究災害傷害保険（学研災）は、加入者が在籍する大学の教育研究活動中に被る事故に対する補償を目的とした保険で、全ての種類の学生が加入することができます。

保険金の支払い対象は、面接授業中や学校行事に参加している間、大学が認めた学生団体活動中、その他大学の施設内にいる間に被った事故等です。

加入は任意ですが、面接授業の中には加入者を対象とする科目もあります。面接授業時間割表の【その他（特記事項）】でご確認ください。

各学習センターで加入することができますが、保険の効力は加入した日の翌日からとなりますので、ご注意ください。

〔詳細は「学生生活の葉」学部 P131～P132、大学院 P130～P131 をご参照ください〕



◇ 卒業研究ガイダンスのお知らせ

2027年度「卒業研究」の履修を希望される方や興味・関心がある方を対象に、卒業研究ガイダンスを開催します。詳細はウェブページをご確認ください。ぜひ、ご参加ください。

開催日： 2026年6月13日（土） 13:30 ～ 14:30
会場： 山口学習センター 小講義室



◇ 美術館キャンパスメンバーズ



山口学習センターは、県立美術館（山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館）が実施する「美術館キャンパスメンバーズ制度」に加入しています。

山口学習センターの学生、教職員は当該美術館の普通展示および企画展示（山口県美術展覧会、山口伝統工芸展を除く）を無料で何度でも鑑賞できます。利用する際は、美術館入口で学生証を提示してください。

※学生証を受け取っていない方や有効期限が切れている学生証をお持ちの方は山口学習センターで交付または交換してください。

◇ 機関誌「とっくりがま」について



山口学習センター機関誌「とっくりがま」を、年4回（4月、7月、10月、1月）発行しています。4月と10月は紙媒体での発行（郵送）をしますが、7月と1月はWeb発行のみとなります。

◇ 雑誌バックナンバーについて



令和7年度（2025年度）に図書・視聴学習室に配架した雑誌を事務室前ロビーに配架します。ご希望の方はおひとり2冊までご自由にお持ち帰りください。

4月～6月のスケジュール

(2026年3月29日現在)

天候や災害等に伴い、スケジュール等変更となる場合があります。
変更が生じた場合は、山口学習センターのウェブサイトに掲載しますのでご確認ください。

4月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			



- 1日 放送授業開始
- 3日 オンライン授業開始
- 17日 面接授業空席発表 (15:00～)
面接授業科目追加登録事前申請受付開始
(～4月22日 13:10)
- 23日 面接授業科目先着申請受付開始
- 29日 閉所日 (昭和の日)



【面接授業】

- 18・19日 良好な人間関係を築くために
合唱で巡る宗教音楽
- 25・26日 アクティブ生活のための食事戦略

5月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31



- 3～5日 閉所日 (祝日)
- 6日 閉所日 (特別)
- 7日 通信指導【Web】受付開始 (～5月27日 17:00)
- 13日 通信指導【郵送】受付開始 (～5月27日【必着】)

【面接授業】

- 9・10日 実践臨床心理学
- 16・17日 世界のバナナ
昆虫の多様性と環境評価
- 23・24日 都市を社会的にとらえる
- 30・31日 レポート・論文の書き方

【ライブ Web 授業】

- 9・10日 統計学入門
- 23・24日 情報工学応用演習・人工知能

6月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

- 13日 卒業研究ガイダンス (13:30～)
- 10日 第2学期【第1回】学生募集出願受付開始
(～8月31日)

【面接授業】

- 6・7日 自分の心を知る社会心理学
- 13・14日 災害の人類学
- 20・21日 宇宙と私たち
- 27・28日 日本語論述の理論と実践

【ライブ Web 授業】

- 6・7日 インテリアデザインはじめて講座

■ 閉所日 ○ 面接授業・ライブ Web 授業

編集 後記

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんが楽しく有意義な学生生活を送られますよう、職員一同サポートしてまいります。最後に、ご多用の折、ご寄稿くださった方々に心よりお礼申し上げます。